

令和8年度「副首都・大阪」大学連携プロジェクト リサーチ・プレゼンテーション事業
業務委託契約に係る企画競争方式（プロポーザル方式）による選定結果について

1 案件名称

令和8年度「副首都・大阪」大学連携プロジェクト リサーチ・プレゼンテーション
事業業務委託

契約期間 契約締結日から令和9年2月26日（金）まで

2 優先交渉権者

株式会社A T O M i c a

3 公募期間

令和8年1月9日（金）から令和8年2月12日（木）

4 学識経験者等の意見を聴取する選定会議による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
石川 聡子	大阪教育大学教育学部教授
木下 祐輔	大阪商業大学経済学部専任講師
辻本 桂	中小企業診断士

(2) 選定会議の開催日 令和8年2月27日（金）

(3) 審査基準

審査項目		審査内容	配点
企画力	事業全般	・本事業の趣旨及び目的が十分理解されており、副首都・大阪PRキャラクター「にゃにわ福まる」を活用するなど、学生の副首都ビジョンへの理解促進や共感の深化につながる内容となっているか。 ・全体研修会、中間発表会、成果発表会を通じて副首都ビジョンへの理解が段階的に深まる構成となっているか。	20点

全体研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・参加学生が社会人基礎力を身につけられる成長の場となっているか（研修内容の充実度）。 ・オンライン形式のなかで他大学の学生間で交流を持つことができ、一体感が得られる内容となっているか（ワークショップの工夫度）。 ・研究活動や発表手法などに精通している講習の講師が選定されているか（ネットワーク力）。 	20点
中間及び成果発表	<ul style="list-style-type: none"> ・参加学生が緊張感や達成感を得られる構成となっているか（プログラム内容の工夫度・充実度、発表会全体の質向上に向けた取組）。 ・オンライン形式（中間発表会のみ）も含め他大学の学生間で交流を持つことができ、一体感が得られる内容となっているか（他大学間の学生交流の場の設定の工夫度）。 ・1～2日間で実施可能な効果的な発表会が運営できる計画となっているか（効果的な運営の工夫度）。 ・いずれかの研究テーマに精通し、企業視点からの学生への講評等が可能な民間実務経験者が選定されているか（ネットワーク力）。 ・中間及び成果発表会のいずれについても重視した提案となっているか。 	40点
取材活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各々の学生の研究が深まるような取材先の助言や調整が可能か（ネットワーク力）。 	10点
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容について、適切な業務を期限内に提供できる人材を確保した体制となっており、役割分担、責任の所在が具体的に示されているか。 ・過去に類似の実績があり、必要な実績・ノウハウを持っているか。 ・学生に対する個人情報や法人情報の保護、著作権の取扱いに関する指導、管理体制が構築されているか。 	10点
積算の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容に比べて提案金額の積算が妥当にされているか。 	10点
合 計		110点

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

株式会社A T O M i c a

株式会社W A V E 全2者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）（合計点の高い順）

審査項目		A社	B社
企画力	事業全般	48点	36点
	全体研修会	48点	36点
	中間及び成果発表	96点	78点
	取材活動の支援	24点	22点
実施体制		21点	20点
積算の妥当性		22点	22点
合計		259点	214点